教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび
No.１８１
２０２３（令和５）年２月３日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

節分

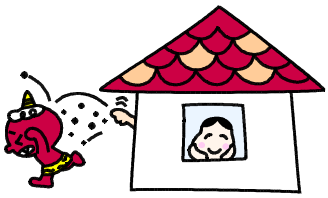
昔からよく、「１月は行く　２月は逃げる　３月は去る」って言ってね･･･と子どもたちを前にして話したものですが、なんか本当に大事な時間にしたいなあと思うこの頃です。

如月・２月となりました。今日あたりは、学校や園で豆まきでもしているのでしょうか。

ご存じのように季節の始まり・節分は年に４度あります。立春・立夏・立秋・立冬の前日。

４つの節分の中でも、立春前の節分が特に重んじられているのは、旧暦と季節の考え方からだと聞いております。

節分にオニに豆を蒔くのは、邪気を払うということからで、室町時代に始まったといいます。いつの間にかオニは悪い者と定着していますが、私はこの時期いつも、昔教えた『おにたの帽子』を思い出すのです。



「にんげんっておかしいな。おには　わるいって、きめているんだから。おににも、いろいろあるのにな。にんげんも、いろいろ　いるみたいに。」

おにたのつぶやきです。

物語の最後は、おにたが優しくしてあげた女の子のこの言葉で閉じます。

「さっきの子は、きっと神様だわ。そうよ、神様よ･･･」

教育委員リレーエッセイ

『　娘・教師になる　』

今金町教育委員　　永　井　　章



娘（長女）が教師なりたいと思ったのはいつ頃だろうか？

思い返してみると今金小学校へ入学してすぐに一人の女性教師に憧れを抱きだしたと思います。この時から彼女の夢が教師になることになったのかなと思います。そして中学生のころには教師になる夢が目標に変わっていきました。彼女は小・中・高・大・院とそれぞれの学校でそれぞれの恩師との出会いがありました。（これは必然なんでしょうか？）

高校へ進学して数学教師を目指すようになりました。しかし、教師への道のりは順風満帆ではありませんでした。教育大学を受験しますが失敗してしまいます。一浪して２度目の受験も残念ながら不合格となってしまいました。そこで彼女は数学の教員免許がとれる私大の工学部への進学を決めました。４年間で無事教員免許を取得し卒業しましたが教授に進められなぜか大学院へ進学してしまいました。（教師への道のりは紆余曲折の繰り返しのようでした。）

そして昨年、満を持して公立学校教員採用候補選考検査を受験しました。しかしここでも不合格となってしまいました。本人はかなり落ち込んでしまいました。（ここまで努力を続けて頑張って来ているのに、神様はまだ彼女に試練を与えるのか～と思いました。）

１０月に私立高校の教員採用試験があるから受けてみたらと進められ受験します。一次選考から二次選考へ進み、１１月末に合格採用通知を頂きました。（やっと・・・ようやく・・・おめでとう～）

今年の春から教師としての彼女の新しい人生がはじまります。夢から目標へ、そして達成、長い長い道のりでした。しかしこれからも大切です。また新しい夢から目標へ、そして達成へと次のステップを楽しんで進んで行ってくれることを願います。

最後に、そう言えば彼女の座右の銘が「努力は必ず報われる」でした！

